

# 〈東文研・ASNET共催セミナー〉

## インドネシア泥炭地の環境破壊とCO2の放出 —人工衛星による火災データから—

### Destroyed tropical peatland environment in Indonesia and the impact to the CO2 emissions



インドネシアは熱帯地域の中でも、とくに広大な泥炭地面積を有している。その多くは合法に、あるいは非合法に、農地として利用されているが、ここからは大量の二酸化炭素が放出されている。炭素クレジットの算定とその国家間交換は、環境に配慮した開発という側面だけではなく、開発途上国の経済的な負担という点においてグローバルな問題となっている。泥炭地の炭素をとどめておくためには地下水の水位を高くする必要がある。本報告では、衛星で捉えた気象情報をもとに地下水位を推定し、地面の乾燥度とCO2分解（放出）量を算出する方法が取られてきたこと、さらに、火災情報を探知し、それに起因するCO2放出量について計測する取り組みが、過去15年の間に可能となったことを明らかにする。

報告言語: 日本語 Language : Japanese

- ◆ 日時：2019年 7月11日(木) 17:00-18:00 / Date: 5:00-6:00 pm, July 11 (Thu), 2019
- ◆ 報告者：朴慧美 [パク・ヘミ] 氏 (生研5部、竹内 (渉) 研究室・特任研究員) / Dr. Park Haemi (Project Researcher, W.Takeuchi Laboratory, Institute of Industrial Science, the University of Tokyo)
- ◆ コメンテーター:アルフェリナ・イエシ博士 (RESTEC) / Dr. Yessy Arvelyna (RESTEC)
- ◆ 会場：東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所1階ロビー  
Venue: Ground Floor, Institute for Advanced Studies on Asia, University of Tokyo